



※本画像はイメージ画像です。

- サービス名: アニハート ホームモニタリング(開発中)
- サービス開始日: 2027 年後半の予定です。

沖縄県に本社を置く、まちなか ME センター株式会社(代表取締役:熊川 哲)は、犬猫の生体情報を測定する動物用医療機器とモニタリングサービスの開発を進めています。このたび、経営革新計画に関連する取り組みとして、飼い主が自宅で愛犬・愛猫の状態異常をモニタリングして、獣医師や動物看護師に相談できるサービスである「アニハート ホームモニタリングサービス」の提供計画をお知らせします。

モニタリングとは自動的、継続的な生体情報を監視することを指します。
生体情報とは体を傷つけないで、センサを使うことで測定できる項目を指します。
具体的には呼吸数・脈拍数・体温・血圧・心電図・酸素飽和度などがあります。

犬猫は自分の不調を言葉で伝えることができません。また、時に不調を隠します。
飼い主が観察で異常に気が付いて病院に行くのが一般的ですが、異常の発見が遅れやすいというのが現状です

本サービスは、通院前から退院後まで病院とつながり、自宅と病院で一貫して継続的に生体情報をモニタリングすることで、状態異常の早期発見や、動物病院を受診すべきかの判断を支援することを目指します。自宅で測定した生体情報を継続的に記録し、必要に応じて動物病院が確認できる仕組みを構築します。

1.【顧客ターゲット】

自宅にいる心臓病や肺の病気、腎臓の病気を患っている犬猫やその予備群の飼い主、持病のある高齢な犬猫の飼い主、退院後の自宅療養期間の経過観察が必要な犬猫の飼い主、日常の健康状態を把握したい飼い主を想定しています。

2.【コンセプト】

「犬猫の特性と医療環境に適合した生体情報モニタリングを提供する」

人の医療で頻繁に行われている生体情報モニタリングを犬猫の特性や獣医療環境に合わせて応用したのが本システムです。

3.【強み】

人用医療機器の生体情報モニタリング技術を動物用医療機器に応用して、犬猫の特性に適合させました。

非接触型測定器は動物用医療機器として犬猫にセンサ接触の負担をかけず、ストレスフリーで測定できます。また、毛を刈る必要もありません。

ウェアラブル測定器は、小型・軽量化を進めながら、動物用医療機器として医療現場で利用される医療グレードの生体情報の測定を行います。

4.【このサービスをはじめた理由・目標】

犬猫は体調の変化を言葉で説明できず、飼い主が異変に気づいた時には症状が進んでいることもあります。当社は、人の医療で用いられる生体情報モニタリングの考え方を動物医療にも広げたいと考えています。

<以下、参考資料>

■代表者の経歴



役職：代表取締役

氏名：熊川 哲（くまがわ あきら）

資格：臨床工学技士、愛玩動物看護師、MPH（公衆衛生学修士）

職歴：市立大村市民病院、琉球大学病院に勤務

青年海外協力隊としてセネガルの国立病院に勤務

医療機器メーカーでサービスエンジニアとして勤務

2021 年 まちなか ME センター株式会社を創業

■ 商品概要

商品名	アニハート ホームモニタリングサービス(仮称)
サービス開始予定日	現在測定器の改良・検証中。2027 年後半にサービス開始予定
サービス提供方法	動物病院を通じた測定器のレンタル
販売価格	未定

＜資料に関してのお問合せ先＞

まちなか ME センター株式会社 担当:熊川 哲

E-mail:[kumagawa@o-m-e.com]

HP アドレス:[<https://machinakamec.com/>]

住所:沖縄県豊見城市高安 385 番地-101